

小学生の携帯電話の普及に伴う問題点

学生番号 Z2221010

氏名 東学 太郎

現在、小学生と携帯電話の問題は、大きな社会問題の一つとしても挙げられており、否定的な情報や意見が多く見受けられる。今回、上記問題について、「より良い携帯社会を実現するにはどうすれば良いか」という観点から分析し、考察したい。

小学生の携帯電話所持について

大人の視点

さまざまな社会犯罪に巻き込まれるケースも多く発生していることが懸念材料である。

小学生の視点

「危険に直面した場合の緊急連絡手段」として有用である。

小学生と携帯電話の実情

子どもの携帯電話普及率を調べると、小学6年生では25.5%であるが、中学1年生では38.9%と普及率は上昇している。

まとめ

それぞれの事情をよく理解したうえで、まず教育現場ではリテラシー教育を充実させることが急務である。

以上